

# 道の駅「奥永源寺溪流の里」を拠点とした自動運転サービスの社会実装に向けた挑戦

**【要旨】**

- ✓ 国土交通省および東近江市では、中山間地域における公共交通サービスの充実を目指し、自動運転実証実験を2017年度より実施してきた。
- ✓ 実証実験結果を踏まえ、2021年4月23日より、道の駅「奥永源寺溪流の里」を拠点とする往復約4.4kmのルートで、自動運転サービスの社会実装を開始した。
- ✓ 社会実装では、「交通事業者協力型自家有償旅客運送制度」を用いた自治体・交通事業者・地域住民の協力による運営体制を構築し、開始65日で延べ726名が利用。
- ✓ 今後は、地域住民・観光客の両方に対する利用促進などを継続的に行うとともに、市全体の公共交通体系における位置づけを明確にし、持続的なサービス運営を目指す。

## 取組の背景

### 奥永源寺地域の概要

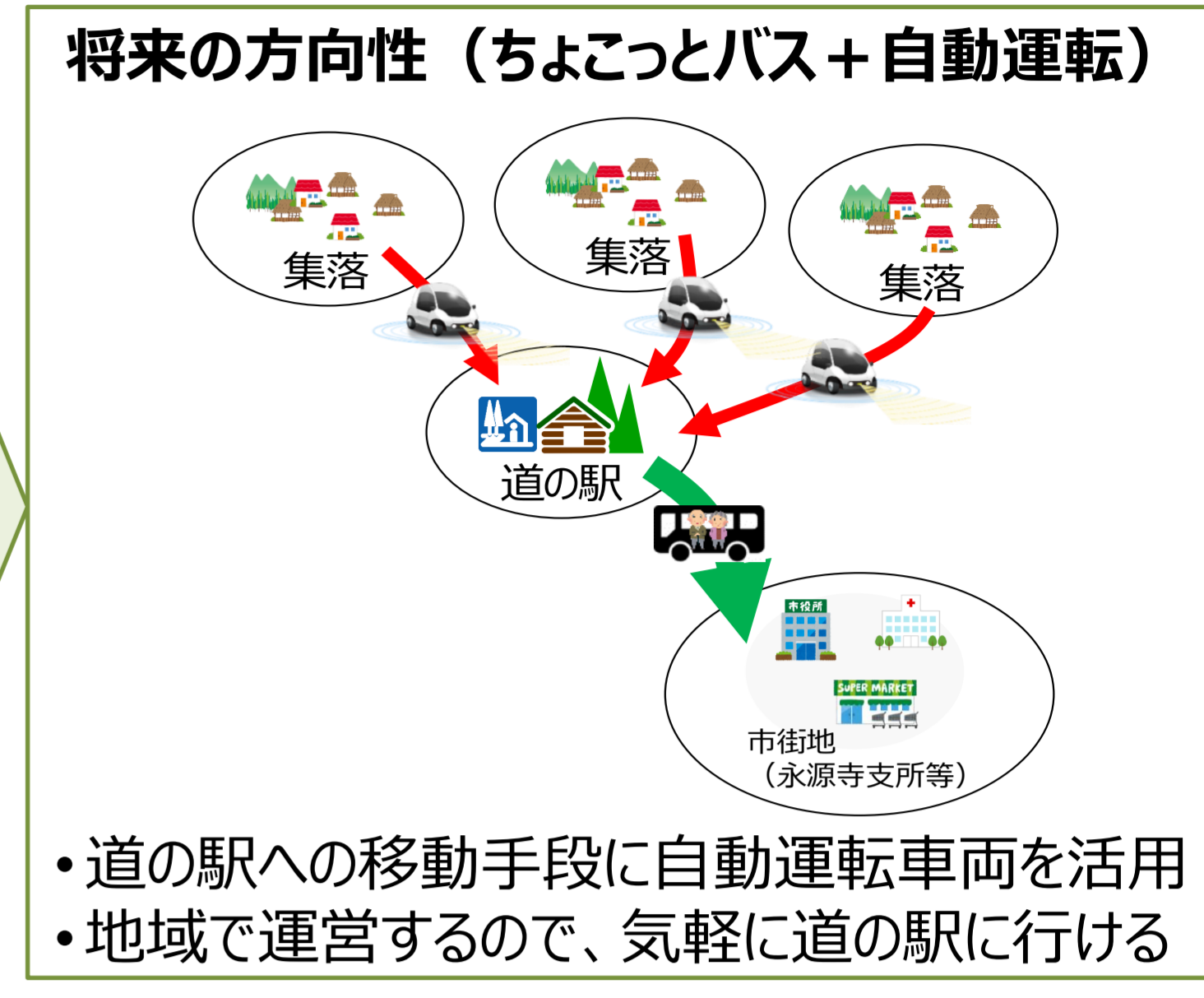
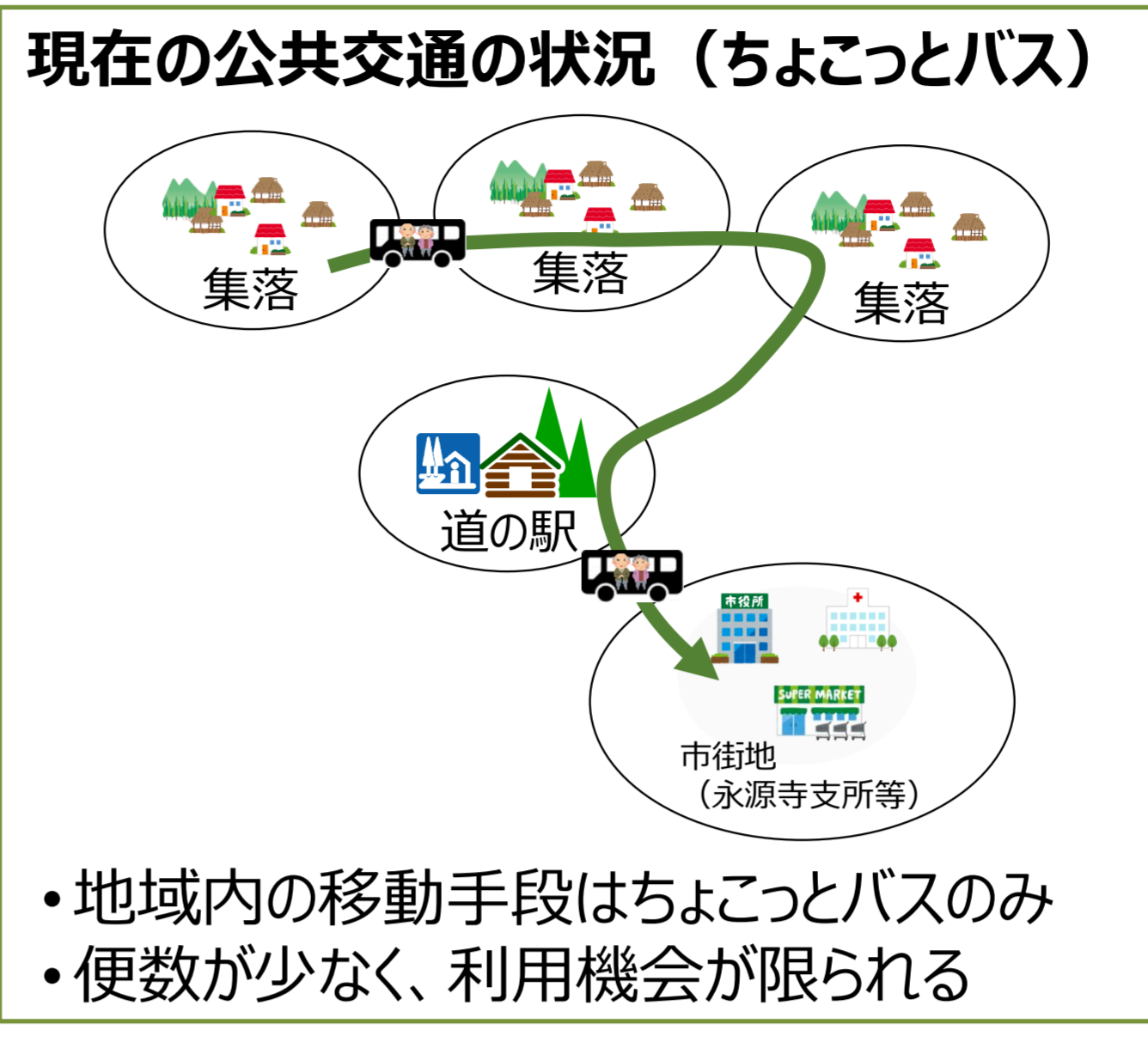


**■ 奥永源寺地域の位置・人口**  
奥永源寺地域は滋賀県東近江市の東端に位置し、人口360人、高齢化率52%（いずれもH27国勢調査）と高齢化が深刻な地域。

**■ 地域拠点としての道の駅**  
地域内にある道の駅「奥永源寺溪流の里」は、売店のほか市役所出張所や出張診療所などを有している。

**■ 地域内の移動手段**  
東近江市が運営するコミュニティバス（ちよこつバス）が、1日4～5往復運行されている。

### 目指す方向性



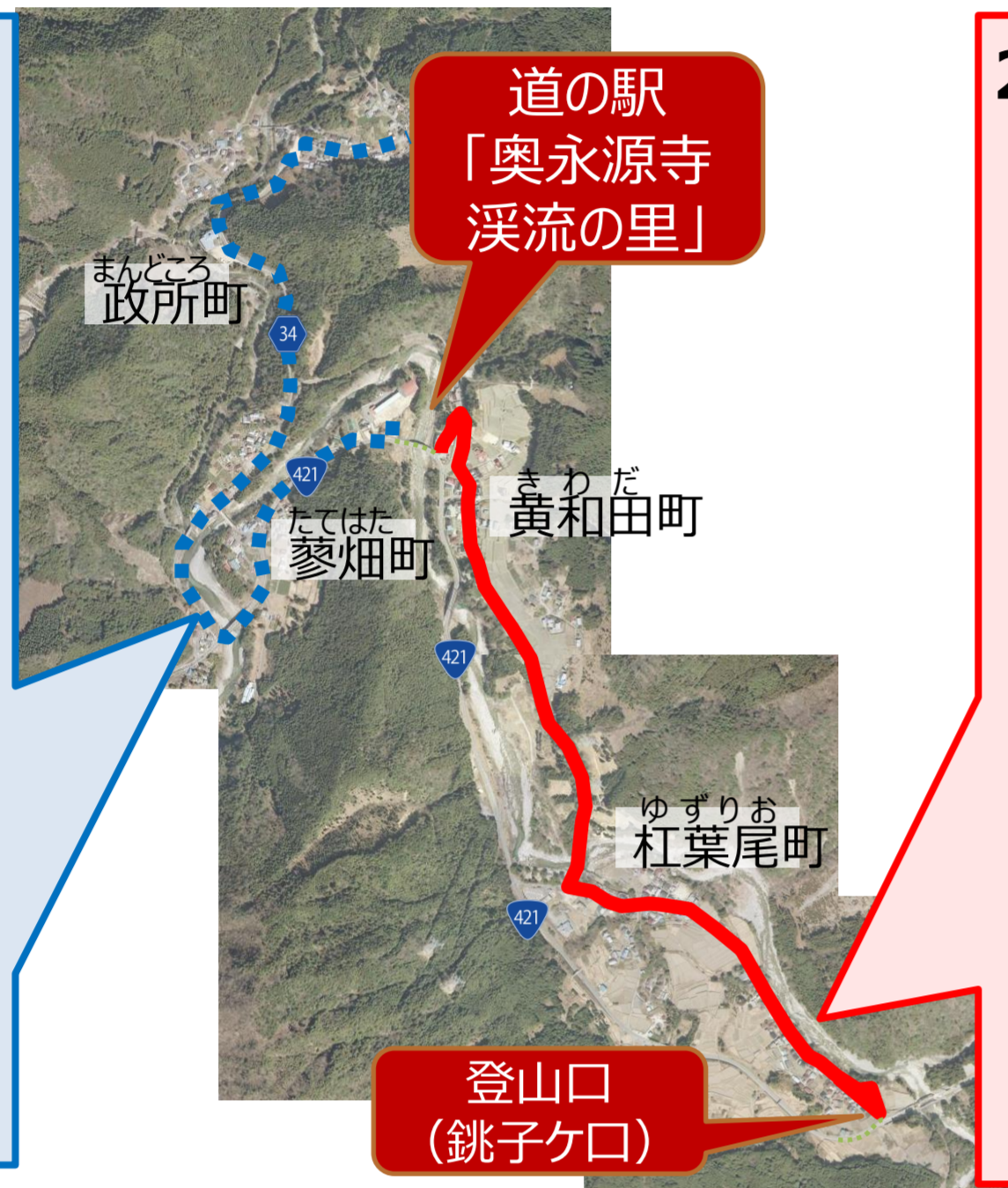
**地域内での「ちよい乗り」で道の駅へ気軽に行ける移動環境を実現！**

## 短期実験・長期実験の取組概要

**2017年11月13日～11月17日**  
**道の駅と政所町・蓼畑町を結ぶ短期実験（5日間：技術面を中心とした検証）**

**【使用した車両】**  
先進モビリティ（株）

- GPSと磁気マーカにより自己位置を特定して走行



**2019年11月15日～12月20日**  
**道の駅と黄和田町・紅葉尾町を結ぶ長期実験（36日間：ビジネスモデルを中心とした検証）**

**【使用した車両】**  
ヤマハ発動機（株）

- 地面に埋設された電磁誘導線およびRFIDタグに従って走行

**▲観光イベントとの連携**   **▲住民向けサロン**   **▲登山客の運送**

**【利用者の声】**

- 今回のような取組を、困っている様々な地域で進めてほしい。（地域住民）
- 地域の人ともコミュニケーションがとれて、カートならではの楽しさを感じた。（観光客）

## 社会実装の実施概要(2021/4/23～)

**運行ルート**

**【ルート概要】**  
○長期実験と同様、道の駅「奥永源寺溪流の里」と黄和田町・紅葉尾町を結ぶ往復約4.4kmの区間で、ゴルフカートタイプの自動運転車両を用いて運行

**【安全対策】**  
○ルート上では、自動運転車両の走行区間であることを周知するための看板や路面標示を設置

**山里市場のご紹介**  
道の駅では、地元の方々による「山里市場」が開かれ、新鮮な季節の野菜や山菜、漬物や餅などの手作り加工品、木工や手織などの手作り品などが数多くあります。  
【開催時間】 毎週日曜日 9:00～16:00 ※季節によって変動あり

**凡例**  
● 自動運転車両の停留所  
▲ キャンプ場  
— 走行ルート（片道約2.2km）

**運行ダイヤ・運賃**

- 長期実験での利用実績を踏まえ、運行日は週4日（水・金・土・日）に設定
- 同じ区間を走行するちよこつバスの運行時間を踏まえ、1日6便を運行
- 毎週日曜日は道の駅での朝市（山里市場）への出荷需要を踏まえ、早朝便を運行
- 運賃は1回乗車150円とし、地域住民向けに回数券や定期券等も販売

**運営体制**

○令和2年の地域公共交通活性化再生法改正により制度化された、「交通事業者協力型自家有償旅客運送制度」を活用し、自治体・交通事業者・地域住民の協力体制を構築

制度上の自家有償旅客運送者：東近江市  
・自家有償旅客運送制度の申請   ・自動運転車両の保有

↓ 運行業務の委託

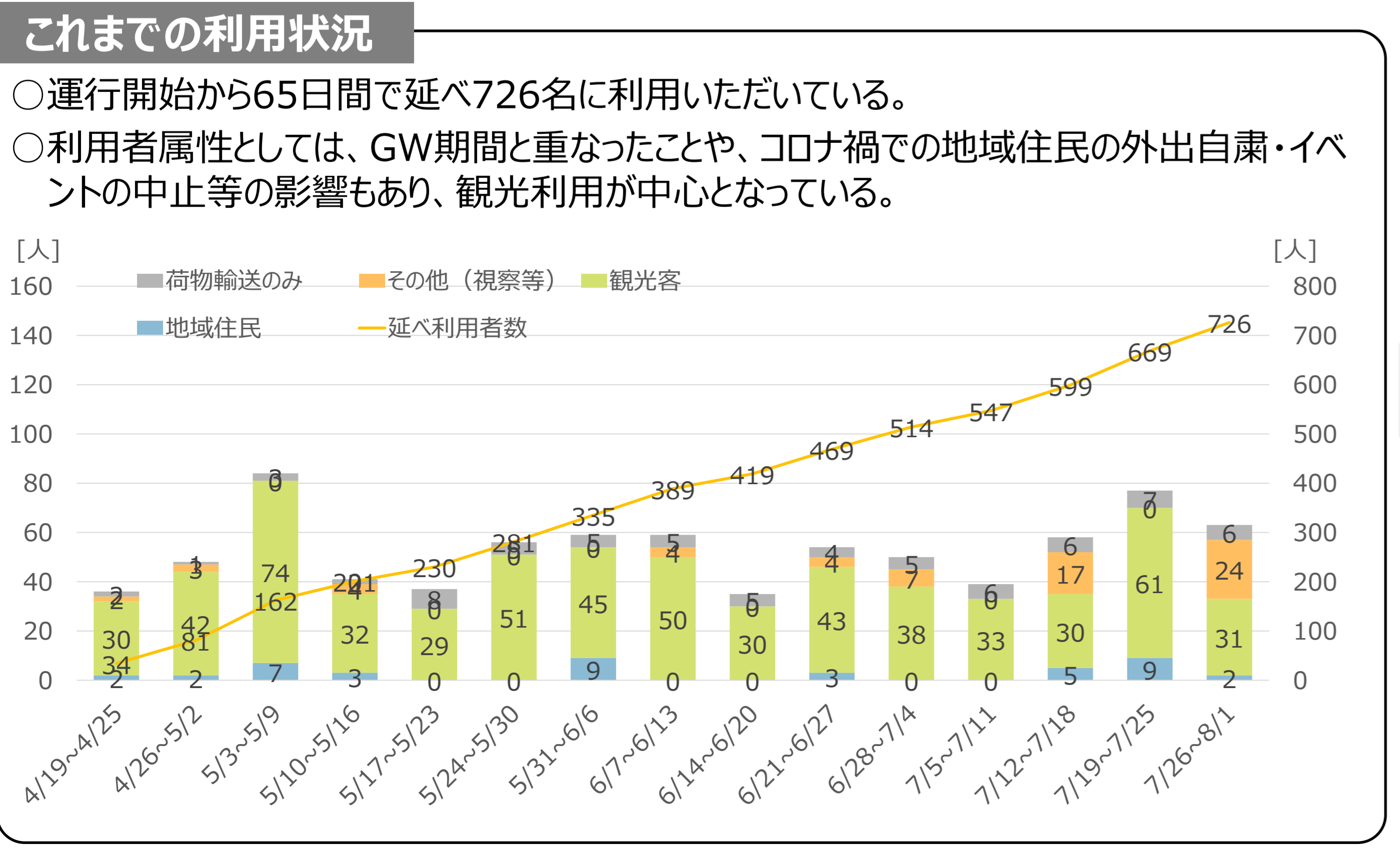
運行業務（運行管理・車両管理等）の実施：永源寺タクシー  
・ドライバー・オペレータのシフト管理、運転手管理台帳の管理  
・運賃収入の管理、東近江市への収支報告   ・車両の定期メンテナンス

↓ ドライバーの委託   ↓ オペレータの委託

**地域住民（個人）**  
・ドライバー業務（乗車券の回収含む）

**地域住民（個人）**  
・オペレータ業務（予約受付、チケット販売等）

## これまでの利用状況と今後に向けた課題



**今後の取組方針**

- コミュニティバスと同程度の収支率を目指し、収入4.8万円/月、収支率20%を目標値に設定。
- 地域住民向け（例：地域内イベントにあわせた臨時便運行）、観光客向け（例：沿線飲食店との連携ツアー）両方の利用促進を継続的に実施する。
- あわせて、チラシやSNS等を活用した広報・周知などを通して、地域への自動運転サービスの定着を図るとともに、市全体の公共交通体系における位置づけを明確にすることで、持続的なサービス運営を目指す。

**ワクチン接種日に自動運転車をご利用いただけます！！（※予約必須）**

道の駅「奥永源寺溪流の里」内の（永源寺東側出張診療所）にて実施される新型コロナウイルスのワクチン接種日には、以下の通り運行します！  
※予約がない場合は運行いたしませんのでご了承ください

○臨時運行日：6月接種日…3. 10. 17. 24日（木）  
7月接種日…1. 8. 15日（木）

○臨時運行便：行き…第3便（乗車13:00分）、第4便（乗車14:00分）  
帰り…第5便（乗車14:50分）、第6便（乗車15:40分）  
※各便乗車人数は予約状況により変動いたします

ご予約は以下へお電話いただくか、道の駅内設置の受付でも承ります。  
TEL：050-6862-0024（事務局）

▲ワクチン接種需要に伴う臨時便（地域住民向け施策）

▲沿線飲食店との連携ツアー（観光客向け施策）

▲自動運転車両の愛称募集（他地域での事例）